

平成24年度倉敷市自然環境保全基礎調査業務について

1 事業名

平成24年度倉敷市自然環境保全基礎調査業務

2 事業の目的

真備町西部の鷲峰山山系・妹山山系を含む地域を対象とし、動物・植物の生息状況の把握など自然環境に関する基礎調査を実施する。併せて、これまで市内を対象に行われた自然環境に関する資料整理を行う。

3 委託先

公益財団法人岡山県環境保全事業団

4 調査とりまとめの内容

(1) 現地調査

1) 調査対象地域・・・倉敷市真備町妹地区のうち一般国道486号以北※別図1及び別図2参照

2) 調査内容

調査内容は、下表のとおり

項目	単位	数量	調査すべき情報
動物調査(ほ乳類, 両生・爬虫類, 鳥類, 昆虫類, 陸生小動物, 水生動物)	季	・ほ乳類, 両生・爬虫類, 鳥類: 4(夏・秋・冬・早春) ・昆虫類および陸生小動物: 2(夏・秋) ・水生動物: 2(夏・早春)	・動物相及びその分布の状況 ・重要な種及び注目すべき生息地の分布、生息の状況及び生息環境の状況
植物調査	季	・3(夏・秋・早春)	・植物相及び植生の状況 ・重要な種及び重要な群落の分布、生育の状況及び生育環境の状況
地形・地質調査	式	・1	・地形及び地質の状況 ・重要な地形及び地質の分布状態及び特性

3) 調査結果とりまとめおよび考察

調査結果及び調査対象地域の自然環境の特性について考察を加えとりまとめる。

4) 採取個体

昆虫の採取個体については、1種につき1個体以上標本化する。その他の動物、植物についても可能な限り標本化する。

(2) 既存資料収集整理

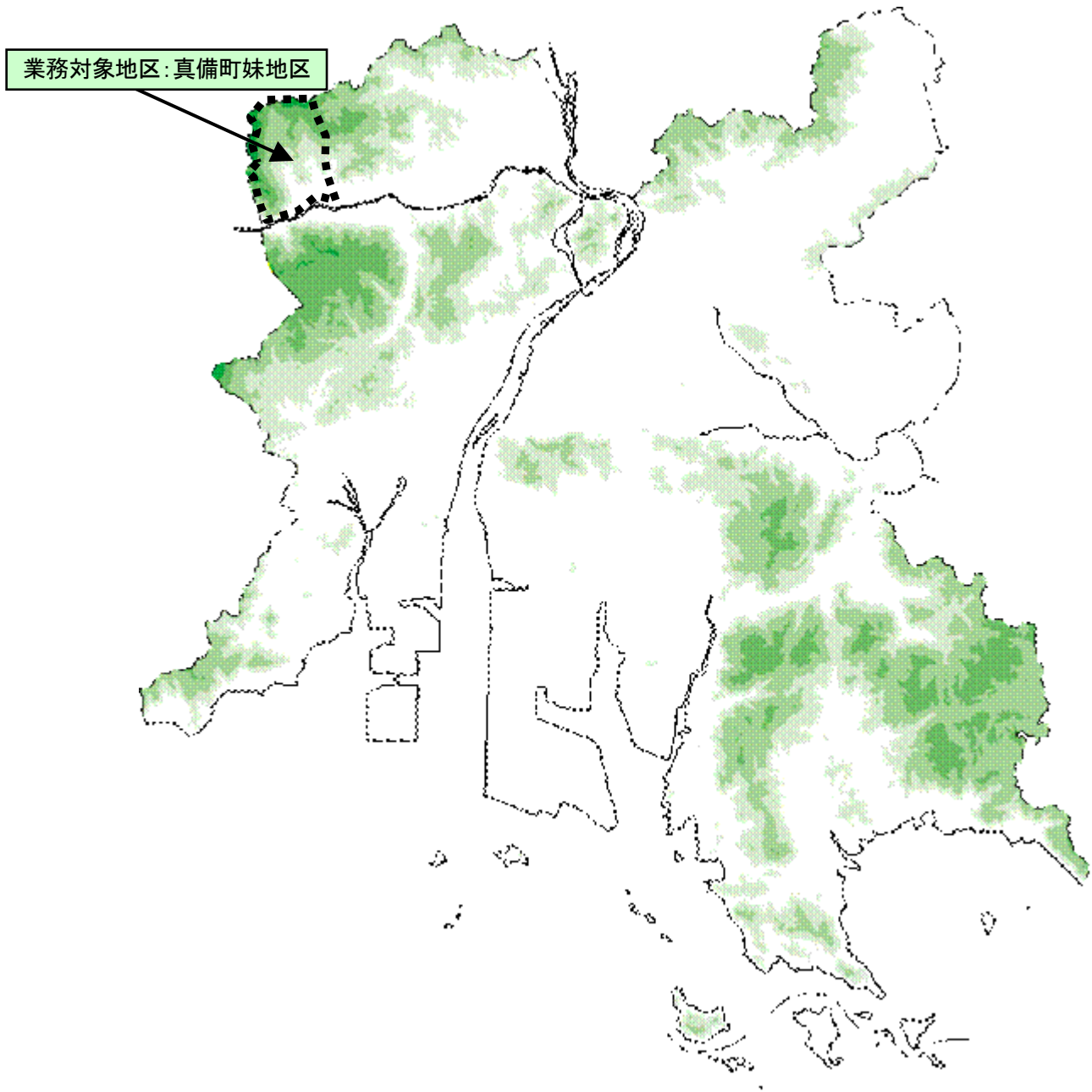
本市における自然概況(地形、地質等)の地域概要及び既存の動植物調査結果について、資料を収集、整理し、地域ごと特性についてとりまとめを行う。地域の区分は、倉敷地域、児島地域、玉島地域、水島地域、船穂・真備地域の5地域を基本とする。

《主な既存資料》

- ・倉敷市における自然環境の現状(昭和48年度、倉敷市)
- ・由加台地環境保全調査(昭和49年度、倉敷市)
- ・福山山系、林熊野神社周辺、下津井城山(昭和50年度、倉敷市)
- ・竜王山山系の自然調査(昭和53年度、倉敷市)
- ・種松山山系の自然調査(昭和54年度、倉敷の自然をまもる会)
- ・弥高山山系の自然調査(昭和56年度、倉敷市)
- ・高梁川河川敷の自然調査(昭和57年度、倉敷の自然をまもる会)
- ・倉敷川水系の自然調査(昭和61年、倉敷の自然をまもる会)
- ・酒津八幡山周辺地域の自然調査(平成元年度、倉敷市)
- ・由加山系の自然調査(平成6～7年度、倉敷市)
- ・向山地域の自然調査(平成17年度、倉敷の自然をまもる会)
- ・倉敷市外来生物調査(平成21～22年、倉敷市)
- ・倉敷市生物目録1996年
- ・岡山県版レッドデータブック2009

その他、国、岡山県、民間などの開発行為に伴う環境影響評価、環境省自然環境基礎調査、国土交通省河川水辺の国勢調査など

(別図1)



(別図2)



図 調査対象地域位置図 (2)